

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	米子市家庭教育支援チーム (呼称: とことこ・タムタム ) URL: <a href="https://www.city.yonago.lg.jp/23545.htm">https://www.city.yonago.lg.jp/23545.htm</a>
②活動拠点	米子市こども総本部 こども政策課
③活動範囲	米子市内全域
④組織体制	12 人 社会教育委員 1人 元保育士・幼稚園教諭 6人 元子育て支援センター職員 2人 米子市児童文化センター職員 1人 行政職員 2人
⑤活動開始年度	平成 20 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 米子市こども総本部 こども政策課 こども育成担当 (TEL)0859-23-5439 (E-mail)kodomo-seisaku@city.yonago.lg.jp

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(市内子育て支援センターを訪問し、保護者への情報提供と相談対応、情報収集する。また、親子で安心して遊ぶことができる市内の公園マップ作成し、配布している。)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上  の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p><b>③活動内容</b></p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>①家庭教育支援チームによる、家庭教育・子育てに関する情報収集・整理・提供、相談活動</p> <p>市内の子育て支援センターや子育てサークルを訪問し、家庭教育・子育て支援に関する情報提供や相談に応じている。また、市内の地区公園にチーム員が出向き、公園の遊具、水飲み場等幼児の遊びを支える設備の有無を調査しまとめた「公園マップ」を作成しているが、マップの情報の更新のために毎年地区公園を回っている。公園で出会った親子へは声かけを行い、関係づくりをしている。</p> <p>②「乳幼児期子育て・親育ち講座タムタムスクール」の開催</p> <p>主に乳幼児期の子どもを持つ親を対象として、年間約10回の「子育て・親育ち講座」を実施している。</p> <p>＜内容＞乳幼児期の生活リズムやメディアとの付き合い方、ふれあい遊びや季節の食べ物を使ったおやつ作りなどの講座に講師を招いて開催している。</p> <p>＜特徴＞講座の内容に応じて「親子でふれあえる講座」と「親のみが参加する座学講座」を開講している。親のみが参加する講座の際は、1対1の託児を設けることで、親が子どもから離れて講座に専念できるような環境を整えている。託児スタッフには、家庭教育支援チームから市民の方に声をかけてご協力いただいている。（現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため託児を中止し、親子で参加する講座のみを開催。）</p> <p>＜その他＞令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、タムタムスクール講座で行っている講座の一部を「タムタムスクール WEB版」として米子市のホームページやYouTubeから配信した。令和2年4～6月の間に3講座計10本の動画の構成・撮影・編集を行った。（感染拡大が落ち着いた9月～11月は親子参加の講座を開催。）</p>
<p><b>④活動の成果</b> (活動実績がある場合)</p>	<p>タムタムスクール講座は事前予約制で行っているが、毎年たくさんの申込みがある。講座後のアンケートでは、参加された保護者の約98%(令和3年度)が「参加して良かった」と回答しており、家庭教育支援に寄与できていると感じている。また、親子と託児スタッフ・家庭教育支援員のふれあいにより、地域内で出会ったときに声掛けを行うなど、地域で家庭教育を支援する気運の醸成が図られている。</p>
<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業 )</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>( )</p>